

本籍				氏名	どひ たかはる
現住所				出生年月日	昭和八年七月一二日生
出生地				旧氏名	
年	月	日	事	項	庁名
三〇	一〇	二一	司法試験第二次試験合格		司法試験 管理委員会
三一	三		京都大学法学部卒業		
〃	四	一	司法修習生を命ずる		最高裁判所
三三	四	三	司法修習生の修習終了		〃
〃	〃	五	検事二級（札幌地方検察庁検事）に採用する		法務省
〃	一〇	一	札幌地方検察庁室蘭支部勤務を命ずる		〃
三五	三	二五	神戸地方検察庁検事に配置換する		〃
〃	〃	〃	神戸地方検察庁姫路支部勤務を命ずる		〃
昭和三六	六	二二	松江地方検察庁検察官事務取扱を命ずる		最高検察庁
〃	一一	一〇	ただし期日は七月一五日一日限りとする		〃
〃	〃	〃	岡山地方検察庁検察官事務取扱を命ずる		〃
〃	〃	〃	ただし期日は一月二八日二日限りとする		〃
三七	三	二四	神戸地方検察庁姫路支部勤務を免ずる		法務省
四〇	一二	二八	大阪地方検察庁検事に配置換する		〃
四四	一〇	二三	東京地方検察庁検察官事務取扱を命ずる		最高検察庁
〃	一一	一二	東京地方検察庁検察官事務取扱を免ずる		〃
四九	八	八	アメリカ合衆国、連合王国、デンマーク、スウェーデン、オランダ、西ドイツ、オーストリア、スイス、イタリア及びフランスの各国へ出張を命ずる		
			出張期間は昭和四九年九月一〇日から同年一〇月二		

## 履歴書用紙

## 法務省

土肥孝治

年	月	日	事項	省庁名
昭和五二	八	一五	法務省人権擁護局付に充ててを解く	法務省
"	"	"	法務総合研究所教官に充ててを解く	"
"	"	一九	法制審議会幹事に併任する	"
"	"	二四	法務大臣官房司法法制調査部長賀集唱外国出張につき同部長事務代理を命ずる	"
"	"	"	事務代理の期間は昭和五二年九月二二日までとする	"
"	一〇	一九	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会幹事に任命する	最高裁判所
五三	七	一	東京高等検察庁検事に配置換する	法務省
"	"	"	法務大臣官房司法法制調査部司法法制課長に充てて	"
"	八	二五	大阪地方検察庁検事に配置換する	"
"	九	五	法制審議会幹事の併任を解除する	"
"	"	二〇	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会幹事を免ずる	最高裁判所
五四	一二	一〇	大阪地方検察庁総務部長を命ずる	法務省
"	"	"	一日までとする	"
"	一一	一	東京地方検察庁検事に配置換する	"
"	"	"	法務省刑事局付に充てて	"
五〇	一	二五	法務省刑事局参事官に充てて	"
"	二	一	大蔵事務官（国税庁調査査察部査察課）に併任する	国税庁
五一	三	二二	大蔵事務官（国税庁調査査察部査察課）の併任を解除する	"
"	"	"	かねて法務省人権擁護局付に充てて	法務省
"	"	"	かねて法務総合研究所教官に充てて	"
五二	四	一八	法務大臣官房参事官に充てて	"
"	七	六	アメリカ合衆国へ出張を命ずる	"
"	"	"	出張期間は昭和五二年七月一六日から同月二七日までとする	"
"	八	一五	法務大臣官房司法法制調査部司法法制課長に充てて	"

土肥 孝治

五四	一二	一〇	大阪区検察庁検事に併任する	〃	
〃	〃	〃	大阪区検察庁上席検察官を命ずる	〃	
〃	〃	〃	生野区検察庁検事に併任する	〃	
〃	〃	〃	生野区検察庁上席検察官を命ずる	〃	
〃	〃	〃	西淀川区検察庁検事に併任する	〃	
〃	〃	〃	西淀川区検察庁上席検察官を命ずる	〃	
〃	〃	〃	阿倍野区検察庁検事に併任する	〃	
〃	〃	〃	阿倍野区検察庁上席検察官を命ずる	〃	
五六	三	二五	大阪地方検察庁公安部長を命ずる	〃	
〃	〃	〃	大阪地方検察庁総務部長を免ずる	〃	
〃	〃	〃	大阪区検察庁検事の併任を解除する	〃	
〃	〃	〃	生野区検察庁検事の併任を解除する	〃	
〃	〃	〃	西淀川区検察庁検事の併任を解除する	〃	
〃	〃	〃	阿倍野区検察庁検事の併任を解除する	〃	
昭和五七	二	一	大阪地方検察庁特別捜査部長を命ずる	法務省	
〃	〃	〃	大阪地方検察庁公安部長を免ずる	〃	
五八	一二	二	大阪地方検察庁次席検事を命ずる	〃	
〃	〃	〃	大阪地方検察庁特別捜査部長を免ずる	〃	
〃	〃	〃	最高検察庁検事に配置換する	〃	
六一	九	一	奈良地方検察庁検事正に配置換する	〃	
六三	一二	二	神戸地方検察庁検事正に配置換する	〃	
平成二	一二	一〇	大阪地方検察庁検事正に配置換する	〃	

履歴書 用紙 法務省